

穴内出張所管内より



国道沿いで爆睡しているのはボクだよ

小力くん(6)
飼い主：前田 浩功さん

「竹内石油の向かいの車庫で爆睡しているのはボクだよ〜♪」。国道を安芸市方面へ東向きに運転していると、一度はそのかわいい寝顔を見かけたことがあるのではないのでしょうか？ 小力くんは目の前の大渋滞なんか気にもせず、いつも気持ちよさそうに寝ています。寝るのが仕事ですが、退屈してくると車庫のゴミを散らかしたり、クッションをボロボロにしたりとやんちゃにイタズラもしています。

ドッグフードより、野菜が好きなベジタリアンの小力くん。シンプルに煮ただけの野菜やじゃこをよく食べるので、健康的です。人懐っこい性格で、取材中もみんなに囲まれて大興奮！「国道でボクと目が合ったら、手を振ってね〜♪」。

じいじとばあばにあいにきたよ♪

はまだ なぎさ
濱田 風紗ちゃん(9カ月)

仲良しのゴンくん&ココちゃんと登場してくれた風紗ちゃん。いつもは柵越しなので、近くで触れ合えてみんな嬉しそうですね！

風紗ちゃんは住んでいる高知市から、毎週のように祖父・正人さんと祖母・百合さんに会いに来ています。昨年9月に生まれてから半年間一緒に暮らしていたので、今は離れて暮らす正人さんと百合さんが“風紗ちゃんロス”に。風紗ちゃんは、正人さんと目が合うとにっこり。百合さんの声には電話でも反応するそうです。「可愛くてたまらんね」と2人は風紗ちゃんが来るのを毎週心待ちにしています。また、じいじとばあばに会いに来てね！

あき支所管内より



安芸
地区

から こんにちは 今月の○○ 気になる人

芸西支所管内より



獣の通り道を見極めて

おかむら もりよし
岡村 守凱さん(76)

農業の傍ら、狩猟仲間と罾猟でシカやイノシシ、ハクビシン、タヌキなどの捕護に取り組む守凱さん。有害鳥獣駆除従事者が、限られた地域で狩猟期間のみ行うことができます。地域では、民家や田畑でシカやイノシシによる被害が見られたり、ハクビシンがハウスのビニールを破って被害にあうこともあります。住民から「何とかしてほしい」と依頼が来ると、守凱さん達は獣の通り道を見極めて、罾を仕掛け捕獲します。

捕獲した時に生きている動物は、命を無駄にせずいただきます。イノシシはすき焼き、シカは凍らせた肉を薄く切ってしょうが醤油で。なかでも、しっかり太ったハクビシンのすき焼きは絶品だとか。「最近捕獲数も増えている。困っている住民のため、今後も仲間と一緒に続けていきたい」と話してくれました。

農業は面白い

加藤 亮さん(30)

広島県出身の亮さんは、東京のテレビ局でカメラマンとして活躍していました。25歳の時、北川村のユズ加工販売会社で働いていた父から栽培のアルバイトに誘われて、高知県へ。県内でもテレビ局で働いていましたが、取材で各地の農林水産業に多く触れるなか、農業を本格的にやりたいという思いが強くなりました。

現在は、父が立ち上げた会社で取締役として、栽培管理を担当しています。主となるユズは農業不用品で栽培し、フランスやドイツへも果汁を輸出。葉ワサビとイタリアントマトは大手食品メーカーと契約栽培し、家庭用商品の原料となっています。「今は売上金額の目標達成を目指して、栽培技術を向上させたい」と試行錯誤しながらも農業の面白さを実感しています。

北川支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



料理を考案した八松右一副総料理長

1 安芸営農経済センター

グドラックで高知なすフェア 期間限定でナス料理3品提供

南国市のレストラン「グドラック」は4月17日から、「高知なすフェア」を開きました。「なすび記念日」に合わせて、期間限定メニューを提供。レストランとJAグループ高知が共同で企画し、機能性表示食品「高知なす」を地域で盛り上げました。

同フェアは、芸西支部園芸部ナス部会の清遠力生部長からの提案で実現しました。レストランは、パン粉をまぶして揚げたナスにカツオ出汁風味のタレをかけたトルコ料理「坊さんの気絶 土佐風」や、ナスや豚肉が入ったタ

イ料理「ガバオライス」など3品を考案。JAグループ高知は、ナスやPR資料を提供しました。16日には、報道関係者を招いて試食会を開きました。グドラックの白山早苗社長は「日頃から地産地消に力を入れている。『高知なす』が機能性表示食品に登録されたことを多くの人に知ってもらい、食べてもらいたい」とアピール。試食した県域高知ナス部会の清岡弘会長は「どの料理も美味しい。今後も『高知なす』の機能性を広めていきたい」と話しました。



「収穫を迎えられて嬉しい」と喜ぶ松本さん

2 中山事務所

安田町中山でシャクヤク収穫 満開までの過程楽しんで

安田町中山地区で4月中旬、シャクヤクの収穫が最盛期を迎えました。花卉部中山支部では、例年より10日ほど早い4月上旬から収穫を開始。今年は3月下旬からの天候に恵まれ、品質は上々でした。

同支部では7人が約110アールで、「さつき」「ルーズベルト」「華燭の典」など約10品種を栽培。出荷から1週間後に満開となるように花を見極め、蕾の状態で見極め、収穫していき、例年以上の約6万3000本を出荷しました。

約23アールで5品種を栽培する松本秀子さんは、「草引きや消毒など管理に手間がかかるが、それを乗り越えて収穫を迎えられたことが嬉しい」と笑顔で話しました。

中芸営農センター中山事務所の小松知喜所長は「昨年は、コロナ禍の影響で単価が2割ほど下落したが、今年は持ち直している。花が満開に咲くまでの過程を楽しんでほしい」と話しました。

3 あき支所

女性部員が高齢者宅訪問活動



市民に交通安全を呼び掛ける清遠支部長

女性部安芸支部は4月8日、安芸市内で訪問活動を行いました。JA・日赤・婦人会でつくる「交通安全母の会」、警察署、市役所ら12人が、65歳以上の高齢者宅100世帯を訪問しました。

部員らは、6班に分かれて反射材付きのエコバックや交通安全のチラシを配布。「今年は事故が多いので、運転する時も気を付けてください」と呼び掛けました。清遠みか支部長は「呼び掛けて少しでも防止につながりたい」と話しました。

4 吉良川支所

青壮年部が児童と田植えで交流



児童と田植えをする宇賀支部長

青壮年部吉良川支部は4月19日、吉良川小学校5・6年生の児童15人の田植え体験に協力しました。吉良川公民館が世代間交流として開き、今回16年目を迎えます。

宇賀康雄支部長が、木枠を使った苗の植え方を説明。児童は裸足で田んぼに入り、皆で声を掛け合いながら苗を植えました。児童は「教えてもらったから上手にできるようなって、楽しかった」と喜んでいました。宇賀支部長は「今後も地域のつながりとして協力したい」と話しました。

5 地区本部

なすマダムら NHK生中継に出演



リハーサルに臨む小原アナウンサーと委員会メンバー

安芸市施設園芸品消費拡大委員会は4月14日、NHKこうちいちばん「とさライブ」の生中継に出演しました。

番組では、小原和樹アナウンサーとナス農家の植野進さんが、栽培や機能性表示食品「高知なす」の効果などについて紹介。なすマダムは、「なすのたたき」のレシピやおすすめのナス料理を紹介しました。なすマダムの尾木浩子さんは「これからも楽しいレシピ動画を作って、みんなにナスをたくさん食べてもらいたい」とPRしました。

6 安芸営農経済センター

小学校長がナス農家訪問



廣瀬校長へナス栽培について説明する植野さん

高知市立春野西小学校の廣瀬潤校長は4月26日、社会科学習の参考のためにナス農家の植野進さんのハウスを訪れました。

植野さんは、栽培の流れや、環境保全型農業や環境制御技術導入の歴史や仕組みについて、丁寧に説明しました。廣瀬校長からやりがいや聞かれると「良いナスがたくさん採れて、収量が上がること。天候などによって毎年作りが違うので、見極めも大変」と農業と向き合う思いを伝えました。

えいのう



栽培終了時の注意点

施設園芸



安芸営農経済センター 営農指導課 安芸ブロック 大北 展浩

栽培期間も終盤となりました。栽培が終わると同時に次作への準備期間となります。次作に良いスタートがきれるよう、しっかりと土壌環境を整えましょう。

作物残さ処理

青枯病、ナスフザリウム立枯病、ピーマン立枯病、センチュウ被害株、疫病が発生した圃場では、罹病株を圃場外へ持ち出し残さ処理材の利用を行い、菌密度の低下を図ります。圃場外へ持ち出す際には、焼却場の利用など、残さをそのまま放置せず適切に処分します。

栽培終了時の蒸し込み処理

コナジラミ類や黄化えそ病を伝播するアザミウマ類のハウス外への飛散を防ぐため、収穫の終わったハウスは引き上げ前（株を抜き取る前・たたき込み前）の晴天時にハウスを密閉して蒸し込みを行います。

土壌消毒

青枯病、モザイク病、ナスフザリウム立枯病、ピーマン立枯病、センチュウ

発生圃場は次作に持ち越さないように特に土壌消毒を徹底します。（ハウス野菜栽培管理こよみ資料3-131-231-3参照）

土づくり

土づくりとはチッソやリン酸などの養分の補給だけでなく、輪作・有機物の施用・深耕・排水などといった複合的な対策を行い、作物の根をとりまく環境を改善することです。有機物施用による効果には、養分の供給や土の物理性の改善他に、養分の保持、緩衝能（CEC）の増大などがあります。特にハウス土壌では有機物の消費が激しい為有機物を定期的に補給する必要があります。

堆肥類においては堆積期間中にコガネムシ類の幼虫が寄生している場合や未分解有機物の心配があるので、堆肥を投入するときには灌水前または土壌消毒前に施用してください。

稲ワラやケイントップ、バーク堆肥は土壌の物理性の改善効果が高く、家畜ふん堆肥は肥料的效果が高いです。目的に合った有機物資材を使用し、施用する際には土壌分析を行い、投入量を検討しましょう。

梅雨時期の防除

カンキツ



安芸営農経済センター 営農指導課 中芸ブロック 久保 巴哉

梅雨入りし雨が増え、気温が上昇する時期です。これから病害虫が発生しやすくなるので注意しましょう。

生理落果

旧葉の落葉が多い圃場などでは、旧葉からの養分の供給が不足し、新葉と花との養分の競合が起こり、生理落果を助長します。気温や日照も関係し、生理落果期に25℃以上の気温の日や曇天の日が続くと生理落果が増加します。特に平均気温よりも2℃高くなる

黒点病

被果は病菌密度で症状が異なり、黒点型、涙斑型、泥塊型となります。防除対策は、生育期を通して枯れ枝を除去、適期に薬剤散布する事が重要です。梅雨入り前に1回、その後はダイセン類などで200〜250mmの降雨後に散布します。

かじよう病

枝葉の病斑で越冬し春先からの降雨によって伝染します。伝染は新葉、幼果、夏秋梢葉の若い組織で起こりやすく、樹齢の若い樹や軟弱徒長の樹で発病が多くなります。防除対策

は、防風対策や発病枝の剪除、ミカンハモグリガの防除を徹底します。また、強風雨を伴う前線や台風の襲来前の予防散布が有効です。

ミカンサビダニ

葉上で6月中旬頃から急激に増殖を始め、6月下旬〜7月に最も密度が高くなります。夏場に高温・乾燥した年は翌年も同じ場所が発生する可能性が高いので注意して防除をしましょう。

その他病害虫

6月はカミキリムシ類やカイガラムシ類の防除適期になるのでしっかりと防除をします。

ゴマダラカミキリ・カイガラムシ類

モスヒラン類粒水溶液

2000倍〜4000倍

(4A・ネオニコチノイド系)

カイガラムシ類・アブラムシ類

トランスフォームフロアブル

2000倍

(4C・スルトキシイミン系)

※同一系統薬剤の連用は避け、異なる系統の薬剤でローテーション散布を行いましょう。

振興センターだより

安芸農業振興センター 08871340138

「高温を利用する土壌消毒」

現・中央東農業振興センター 門田 大志

晴天時の高温を利用する

薬剤を使わない土壌消毒の方法として、太陽熱処理や米ぬか、フスマを利用した土壌還元処理が多く行われています。これらは夏期晴天時の太陽熱を利用して、密閉した施設内を高温にして地温を上げることで土壌を消毒します。

処理開始のタイミング

太陽熱処理も土壌還元処理も前述したとおり晴天時の太陽熱を利用した方法で、土壌中の酸素を奪う土壌還元処理はやや低い温度でも効果が出ますが、いずれも「晴天」がポイントになります。

しかし、現場では晴天が安定しない梅雨時期に処理している状況を見かけます。曇雨天続きで地温が十分に上がらなければ、土壌病害虫が死滅せず作物が枯れてしまう可能性が高くなります。

では、これらの土壌消毒の処理はいつ実施すればよいのでしょうか？

主要な土壌病害虫の死滅温度や時

間は下表のとおりですが、栽培は場

は平均地温が40℃で20日以上あれば防除効果が現れると言われ、初めから晴天が連続するほうが効果が得られやすくなります。そのため天気予報を確認して、向こう3日間以上晴天が続くタイミングで処理を開始することが重要です。参考までに、高知県の梅雨入りの平年値は6月5日頃、梅雨明けは7月18日頃になっています。

令和2年の事例では、梅雨の連続した晴れ間や梅雨明け後に処理した場合が期待通りの効果が出ており、農家のみなさんは口をそろえて「やっぱりお日さんのもんなやね」とおっしゃられました。

これを機に、連続した晴天に土壌消毒ができるような作付け計画を意識してみてください。

地温を上げる二重被覆

「処理時に曇雨天が続いて温度が下がらなかった」、「ハウスを閉め切るとハウス資材が傷むので閉めきりたくなく」といった話もよく聞きます。

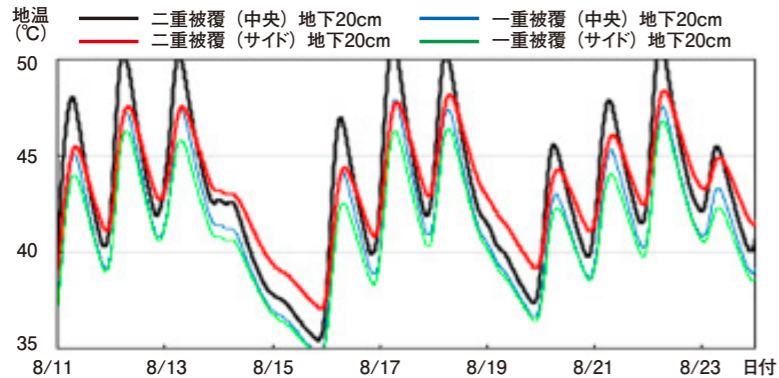


図1 太陽熱処理における二重被覆時と一重被覆時の地下20cmの地温に及ぼす影響 (農業技術センター・安芸農業振興センター調べ)

そこでより地温を上げやすくするために、土壌被覆を二重にする方法があります。実際に芸西村で実施したところ、図1のように二重被覆に比べて二重被覆にすることで地温が2〜3℃高くな

りました。太陽熱処理は地温40℃以上を持続できるのが大事ですが、二重被覆することで持続しやすくなりますので、防除効果をさらに高めるために、ぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか。

施設野菜における主要病害虫の死滅温度

死滅温度	死滅時間	適応病害(虫)名
50~55℃	40分	青枯病、菌核病、つる割病 半身萎凋病 ナスフザリウム立枯病、ピーマン立枯病
42~49℃	20分	疫病、黒枯病、白絹病 つる枯病
50~60℃	10分	センチュウ類、すすかび病
80~90℃	10分	モザイク病
48℃	20分以上	ミナミキイロアザミウマ(成虫)
40℃以上	1~2日	コナジラミ類(成虫)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

高校生花いけバトルは、生徒にとっても良い体験となったことでしよう。写真から、活動の様子が楽しく伝わってきました。今後、公教育の光と変わりますように。

(安田支所・56歳)

▼高校生の頃から、たくさんの美しい県産花に触れ合えるなんて貴重な体験ですね。大人になってぜひ、この体験を家庭や社会で活かしてほしいです。

1本の野花であっても、身近に花があるとほっとします。3月にオーテピアで作品を拝見しました。しばらく足をとめて、見入っていました。

(あき北支所・62歳)

▼オーテピアでは、8つの花屋さん交代で展示されていたとか。それぞれのお店の個性を楽しめますね。

5月は母の日、6月は父の日。お花を買う習慣は無いですが、今回の特集を読んで、大切な人にお花を贈ろうと思いました。

(穴内出張所・32歳)

▼特集を読んで、そう思っていたいただき嬉しいです。花屋さんでぜひ、「高知のお花で」と頼んでください。

機能性表示食品「高知なす」のメニューを見て、「ナスを食べんといかんねえ」と思っていたところ、うちんくの台所のレシピ良かったです。

(あき北支所・63歳)

▼ナスのレシピ作っていただけましたか？高知なすを1日2本食べると、血圧改善に効果あり！ぜひ、毎日の食卓にナスを選んでください。

農作業もオシャレで機能性があり、種類もたくさんあるんですね。農魂Tシャツは百姓の旦那さんには非プレゼントしたい！フレッシュミズ部の皆さんも輝いていますね☆

(室戸支所・32歳)

▼モンクアの農作業着、どれも洒落ですよ！フレッシュの皆さんも、素敵に着こなしていました。農魂Tシャツ、旦那さまにぜひ！！

広報のつぶやき



12ページに掲載させていただいたシャクヤク生産者の松本さんから、取材時に貴重なお花をいただきました。あき支所入口と家に飾って、日々少しずつ開花していくシャクヤクを観察して、改めてその美しさにうっとり。春野町の雨森芍薬観光農園が無料開放していると聞き、早速行ってきました！一面に広がる5万本のシャクヤクは、圧巻。とても綺麗でした！好きな花がまたひとつ増えて、嬉しい春になりました。

(竹村)

令和3年度新採職員のご紹介！ 4月から新たな仲間が加わりました。



あき支所 共済課
しば 圭佑

- ①スポーツ、野球一筋10年です！
- ②野球チームに入って、職員の皆さんとの関係を築きたいです。それを仕事に活かして、地域農業を盛り上げたいです。



あき東支所 信用課
にし おか 美波

- ①韓国ドラマを見ること
- ②有限である時間を無駄にせず、笑顔を大切に多くの人の役に立てるよう頑張ります。



あき北支所 共済課
おお つか 友暉

- ①食えること、体を動かすこと
- ②何事にもひとつひとつ丁寧に取り組んでいきたいです。



安田支所 信用課
かど た み 味夏子

- ①音楽を聴くこと、食えること
- ②分からないことだらけですが、先輩方からたくさん吸収して頑張ります。



芸東営農センター
吉良川事業所
わか み や 俊也

- ①海釣り
- ②地域の組合員の方に貢献できる職員を目指します。

① 趣味・特技
② 一言
よろしく
お願いします！！



税務相談日

令和3年7月14日(水)・8月12日(木)

会場 あき支所3階

時間 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515